2023年も気象変動に負けない米づくり！　第１号

酒田飽海の つや姫・雪若丸情報

令和５年４月１４日発行
庄内総合支庁
酒田農業技術普及課
TEL(22)-6521　Fax(22)-6522

初期生育の確保が安定多収への第一歩！
健苗育成で「つや姫」も「雪若丸」も好スタートを！

管内でも播種作業がすすめられています。田んぼの畦塗や耕起も始まっています。天候も良く作業は順調です。天候に左右されるのではなく、天候を味方につける米づくりをしたいものです。そのためには、計画とゆとりが必要です。まずは田植えまでの計画をしっかり練り、収量・品質・食味が揃った自慢の「つや姫」「雪若丸」を育てましょう。

1　健苗育成

○下表は「つや姫」「雪若丸」の苗の指標です。葉数、苗丈、第一葉鞘高など指標を確認し管理を行いましょう。「はえぬき」に比較すると「つや姫」はやや苗丈が伸びやすく、「雪若丸」はやや短い特徴があります。

【雪若丸】　【はえぬき】　【つや姫】
稚苗の品種の違い

苗の生育指標（稚苗）

品種	移植適期葉数（枚）	育苗日数（日）	播種量（乾籾 g/箱）	苗丈（cm）	第1葉鞘高（cm）	乾物重（/100 本）	必要苗箱数（箱/10a）
つや姫	2.5	20～25	150～180	12～13	3.5 以内	1.3g以上	23～24
雪若丸				11～12			

○ハウスには、温度計を入り口付近や温度が上がりやすいところ、育苗箱付近（床土に挿す）など複数設置すると、こまめな管理に役立ち、自分のハウスのくせもわかります。
○育苗期間中の管理の要点は、時期別の温度を適切にすることです。下の表を参考に、ぜひ取組みましょう。昔から“苗半作”と言われるように、健苗育成が安定多収の第一歩です。

育苗期間中の温度管理の目安

時期		適温	標準葉数	管理の要点
出芽期		30～32℃	0～0.8	出芽まではマルチをし、適温を維持する。異常高温時には、遮光資材や換気で適温を保つ。
緑化期		25～15℃	0.8～1.0	日中は遮光資材をする、低温時には保温する。
緑化期以降	昼	20～25℃	1.0～1.8	水かけは朝のうちにたっぷりと。日中の水かけは地温が下がるので控え、できるだけ日に当て換気をする。
	夜	10℃以上		
硬化期	昼	15～20℃	1.9～2.5	外気温にならすため、夜もハウスを開放する。乾きやすくなるので、乾いたところには葉巻する前に水かけを行う。
	夜	5℃以上		

2　圃場準備と土づくり

○適正な土壌ｐＨ（5.5～6.0）に改善することで、田ワキ対策や地力の発現に繋がります。

○有機物や土づくり肥料の施用で、土づくりを継続しましょう。

○根域拡大（気象変動耐性向上）のため、作土深は 15cm 以上を確保しましょう。通常のロータリーでもゆっくり耕起することで 15ｃｍ程度の作土深にできます。プラウやスタブルカルチによる耕起も効果的です。

すき床層の浅層化による根域の縮小

作業性を優先した耕起深が浅い圃場では、ロータリー耕や大型機械の踏圧により土壌が緻密化し、年々すき床層※が浅層化してくる傾向にあります。これにより作土・根域が縮小すると、気象変動への緩衝効果の低下、登熟不良といった影響が出ます。

※漏水を防止する効果がある一方、水稲の根の伸長阻害、透水性不良の原因となる緻密な粘土などの層

3　適正生育を確保する本田施肥

○「つや姫」「雪若丸」の地力別の基肥窒素施肥量は右表のとおりです。

○昨年までの生育や収量、タンパク含有率から施肥量の見直しは必要ないでしょうか。「生育が大きかった」、「葉色が濃く推移した」、「タンパクが高かった」方は基肥量から見直しましょう。

地力別本田窒素施肥（kg/10a）

品種名	地力高	地力中	地力低
つや姫	3	4	4～5
雪若丸	4	5	5～6

○近年、「雪若丸」のタンパク含有率が高い傾向にあります。圃場の地力に合わせた施肥設計で、収量・品質を維持しつつ、タンパク含有率の適正化を図りましょう。

4　目標とする茎数を安定確保するために

○初期生育の確保が「つや姫」「雪若丸」では特に大切です。初期生育を確保するための重要な要素が植込み本数です。１株に多く植えこむ「大苗」は、１本ずつの環境が悪くなり安定生産には不向きです。１株当たりの植込み本数は４～５本とし、適正な栽植密度（70 株/坪程度）に設定しましょう。苗の植付の深さは分げつを促進するために３ｃｍ程度にしましょう。

田植え時に目標とする株数と植え込み本数

植込本数（株/本）	株数（坪）	植付深（cm）
4～5	70	3

○活着後は保温的な水管理で分げつの発生を促し、６月中に有効茎を確保します。
また、高温時にはきめ細やかな水管理を行って、田ワキの発生を予防しましょう。

「春季農作業事故防止運動」展開中！ 4/10～6/10

「声かけあい、助けあい、農作業事故ゼロへ！」